

神奈川ウォーキング参加 H23-02

午後からウォーク 横浜の歴史をもっと知ろう

日時：平成 23 年 7 月 27 日 (水) 集合：関内駅北口 14 時

コース：関内駅→歴史博物館 (入館) →神奈川県庁 (新庁舎・本庁舎屋上展望) →横浜開港資料館 (入館)
→横浜情報文化センター (16 時閉館で入れず) →横浜公園 16:50 解散 4,000 歩約 3 km

参加者：平嶋 (L)・八巻・戸田・吉留・平林・熊坂・仲・平石一・大平・渡辺ノ・栗本・青松夫妻・小川
菊池・熊島・佐藤繁・斎藤優・中村・小林・水久保・伊藤真 合計 22 名 (男 13 名・女子 9 名)

天候：曇り後晴れ

・7月26日(火)夫婦で新宿に所用有り、昼食後久し振りに「新宿御苑」散策をした。いつもは東側大木戸門から入り玉藻池→フランス式整形庭園→イギリス風景式庭園→日本庭園→千駄ヶ谷門のコースで歩くのだが、今回新宿門から入り西側「母と子の森」の巨木の林を通して見た。「ラクウショウ (落羽松)」という巨木の廻りに、筍のように気根の群れが見られ、写真を撮っていたら、ふと神奈川ウォーキングを思い出し、手帳に7月27日(水)「W」のメモ有るも場所その他記入なし。帰宅し「午後からウォーク14時関内駅集合」「横浜をもっと知る為に資料館等の見学」とあり、ウォーキングより歴史勉強会主体。晩酌後天気情報を見ると、曇り夜雨予報で決定し22時頃リーダー平嶋さんにメールを入れました。

・溝の口駅から川崎駅経由で行くと関内駅までは40分で行ける。予想に反して22名でしかも男性軍が多いとは驚きました。

・横浜開港資料館にも入館し(¥150)、横浜情報文化センターに着くと丁度16時展示館は閉館されておりました。

・天候は夕方雨模様どころかお日様が出て、平林さんに日焼け止めクリームをお借りし(有難う御座いました)、この後の山下公園から外人墓地ウォークに備えましたが、時間も16:30になり中止し、横浜公園で17時前解散しました。

I. 関内駅北口で資料配布と今日のコース説明をされる平嶋リーダー



新宿御苑のラクウショウ



・「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」の判りやすい地図を戴きました

II. 横浜県立歴史博物館 (館内は写真撮影禁止につき、入り口ホールのみ) 団体高齢者 ¥ 1 0 0



・テーマ

- ①さがみの古代に生きた人びと ②都市鎌倉と中世びと ③近世の街道と庶民文化 ④横浜開港と近代化
⑤現代の神奈川と伝統文化 3階→2階→1階と見学。資料も豊富で案内説明の人も居られたが、30分では時間が短く、特に鎌倉と横浜を愛している方で「もっと知りたい方」は余裕を持って再び訪れて下さい。

・ウォーキングコース立案するにも最適の場所だと思います。↓歴史館を後に県庁へ向います。



・中区南仲通の「歴史館」→「県庁」に向う。



III. 県庁屋上展望 (新庁舎と本庁舎)



新庁舎屋上から見下ろす、↑赤レンガ

↑横浜税関クイーンの塔・大さん橋ふ頭



・先ず新庁舎の屋上で横浜港を展望し、横浜税関 (クイーンの塔)・大栈橋・氷川丸・ベイブリッジを背景に一列整列集合写真、ポーズ色々満点です！



↑ 県庁本庁（キングの塔）&横浜市開港記念会館（ジャックの塔）そして横浜税関（クイーンズの塔）



・ 県庁本庁舎前で、全員人員点呼確認用集合写真を撮ろうとしたら、肝心の平嶋Lが居ない。神奈川ウォーキングを代表して知事に面会されたのではと携帯呼び出し、4階渡り廊下から新庁舎に行かれていた様です。お陰様でタイミング良く親切で綺麗な女性職員さんに（私も入り全員で22名）シャッターを切って戴きました。

IV. 横浜開港資料館：江戸から大正・昭和にかけての資料約25万点が収録されている（写真撮影禁止）



・ちょっと立ち寄り覗き見する予定でしたが展示館を見学しました。高齢者団体¥150

丁度今日から企画展「広瀬始親（1915年生まれ）写真展 横浜ノスタルジア・特別篇～昭和30年頃の街角」が始まっており、昭和30年頃の写真が見られました。 ↓中庭、玉櫛の前で



V. 横浜情報文化センター：建物の中には入りましたが展示会場は16時出終りでした。





- ・横浜情報文化センターを出たのが16時過ぎて、以後の山下公園や外人墓地へのウォーキングは中止し、「ミステリーウォーク」集合場所でもあった「横浜公園」で解散しました。17時前でした。
- ・この後歩き足りない人は山下公園や丘の見える公園で夕陽を見るもよし、今日は「横浜をもっと知る勉強会」としてのアフターウォークに希望者18人も行きました。海産物居酒屋「さくら水産」駅前は満員で、結局「情報文化センター」地下の「さくら水産」に行きました。その後今日の横浜歴史学習で関内（開港直後、開港場への出入り口として吉田橋が架けられ、橋には関門が設けられ開港場の治安を図った。関門を境に海側を「関内」陸側を「関外」と呼んだ）の魅力に惹かれ有志でもう一軒立ち寄り、夜の関内を腹から味わいました。



↑「アフターウォーク in 「さくら水産」皆さんの満足な笑顔が今日の「横浜もっと知ろう、午後からウォーク」満喫を語っております。

編集後記

- ・猛暑中のウォーキングとして「午後からウォーク」そして「建物内で横浜をもっと知る為」に皆さん学習熱心で後の公園散策出来ませんでした、大変良い企画であったと思います。平嶋Lに厚く御礼申し上げます。
- ・現在と過去が共存する、異国情緒満杯の街「横浜」益々好きになりそうです。
- ・8月19日（金）には別のグループと中華街に来ます。今日の印象を皆さんに紹介させて戴きます。

「コクリコ坂から」絶賛公開中 ヨコハマを楽しみましょう！
 スタジオジブリ最新作は1963年頃の横浜を舞台にした青春物語
 企画・脚本宮崎駿、監督宮崎吾郎・・・お孫さんとご一緒にどうぞ！